

2020年の6月10日「時の記念日」は100年目

1920年(大正9年)に、時間の大切さを広めるために制定された「時の記念日」は、2020年に節目の100年目を迎える。時間の意識や大切さは時代と共に変化しているが、時間は常に平等にある。当たり前のように正しい時間を確認できる社会において、改めて「時間の大切さ」を啓蒙することに価値がある。「時」の大切さを訴えるべき時代が来た。時の記念日を「国民の休日」にする運動は、いまだからこそ価値がある。

保険のご相談は(株)東時へ 本社:03-5817-0353 西日本支社:06-6252-4477

SUZUHO logo and contact information for the publisher.

Quality logo and publisher information for (株)時計美術宝飾新聞社.

THE WATCH & JEWELRY TODAY logo and masthead.



真珠やダイヤモンドなど100万点が集まる

IJKは5月16日~18日に開催 ~ハンドメイドにも注目高まる~

真珠の集積地として、日本の真珠を目当てに多くの海外バイヤーが訪れ、賑わいを見せる西日本最大の宝飾展「第23回 神戸国際宝飾展IJK」は、5月16日~18日に神戸国際展示場で開催され、世界15カ国から640社が出展し、100万点(主催者発表値)もの宝飾品が出品される。

また以上にハンドメイドアクセサリー市場が活発となり、ハンドメイド用素材にも注目が集まっているという。主催者も「様々な素材やパーツを比較・購入できる場として、ハンドメイド作家の方のIJKへの来場者数も年々増加傾向にある」としており、クラスプ、チェーン、フレーム、ビーズなどのジュエリー・アクセサリ制作に欠かせない素材を、豊富な種類の中から「お得意

スブルー、ラベンダーカラーが人気となりそうで、パステルカラーよりさらに淡いペールトーンがトレンドカラー。MIMOZZA(トルコ=B7-35:写真左)のジュエリーはすべてハンドメイドで、OEM/ODMも可能。また、大ぶりのピアスやネックレスは昨年に続きトレンドで、クリア素材を使ったデザインが注目され、存在感ある個性派アクセサリ(イタリア=B5-12)も人気だろう。多くの受講者が集まるセミナー(基調講演)は、17日13時30分から「2019アップデータバイヤー目線で見る世界の真珠マーケット動向」をテーマに、(一社)日本真珠振興会理事/覚田真珠代表の覚

田譲治氏が、世界の真珠取引で主要な品種である、あこや真珠、白蝶真珠、黒蝶真珠の現状と今後の展望を、それぞれの真珠を代表するスペシャリスト達へのインタビューをもとに解き明かす。18日13時からは「合成ダイヤモンドは、宝飾ビジネスをどう変える? ~業界の第一人者が最新事情を徹底解説~」をテーマに、(一社)日本グロウンダイヤモンド協会代表理事の石田茂之氏が、天然ダイヤモンドと全く同じ物質科学的特性を持つ、エシカルな新しいダイヤモンドについて、そして価格破壊も伴う今後のダイヤモンドビジネスと新たな可能性、海外最新情報を含む合成ダイヤモンド最新情報を話す。

Advertisement for (株)萩原 featuring a starburst graphic and contact details.

来場者全員にWチャンス 10万円の「JTOフェア賞」など追加

特別な第100回「JTOフェア」 6月5日、秋葉原UDXビル2F

トリプルチャンスや30分毎に当たる買物券。全国の小売店などから愛され続ける国内唯一の宝飾問屋街ジュエリータウンおかもちまち(JTO。田中勇会長)有志による「JTOフェア」は、6月5日の開催で記念となる100回目を迎えるにあたり、これまでも評判となっている従来型の抽選会やWチャンス賞、トリプルチャンス賞に加え、記念フェアならではの企画として11時から30分毎に計8回、5000円の買物券を各回10名、合計80名に当たる抽選会を実施するほか、来場者全員にWチャンス賞の抽選券を配る太っ腹なサービスを用意しているのは前号で伝えた通りだが、今回新たにWチャンス賞の中に、フェア会場で使える10万円の買物券が当たる「JTOフェア賞」と、JTO会員店で6月末までに使える10万円の買物券が当たる「JTO賞」が加わり、来場者へのサービスが更にパワーアップした。

が令和へと変わって、初めてのJTOフェアが100回目を迎え、これもJTOにとって一つの節目として特別なものと感じている」と話しているように、39社の各出展社は特別な記念フェアに向けて趣向を凝らした「お買い得品」をはじめ、売れ筋商品を多数用意してくることが予想され、いつもよりも多めの仕入予算をもって大量仕入れをすることで、出展社とともに節目の100回目のJTOフェアを盛り上げたい。▼出展社=(株)アイポリー、(株)アベジュエリー、R・P・JEWEL'S(株)、(株)宇土真珠、(株)エクセレントジェム、(株)エステート、(株)オクノ宝石、(株)大ハタパール工業、(株)オーロラ、(株)きしの宝飾、(株)ギリオン、(株)桑理商事ジェイワン、さくらジュエリーインターナショナル(株)、(株)ササガ商会、(株)三和真珠、(株)SAN、(株)ジェメス、(株)スミノノ宝石、(株)セブン宝飾、(株)セントフローレンス、(株)ダウド商事(株)、(株)高橋宝飾、(株)タコール、(株)中外鋳業(株)、(株)ディーエヌディー、(株)トキ、(株)東京高橋パール(株)、(株)中川装身具工業(株)きんちや、(株)ハイタイムズ、(株)PUZZLE、(株)ハチジュエリー、(株)日向宝飾、(株)Fine Crew、(株)プラチナ宝飾、(株)宝正、(株)MAHAMANI GEMS(株)、(株)三原真珠、(株)村田宝飾(株)、(株)ユニオン真珠。

「ラボグロウンダイヤモンド」と表記 世界共通で。2年ほど前から話題に上がり、昨年末頃から国内市場にも本格的に流通が始まっている、人間の手によってラボなどで成長したダイヤモンドを、一般社団法人日本ジュエリー協会(JJA。小山藤太会長)では、「合成ダイヤモンド」と呼称し、英語表記では「Synthetic Diamond」とすることを、業界紙に限らず一般の

GIAもSyntheticから変更。24日に説明会を開き、通達、日本の宝飾業界においても改めて認識の共有を図ったことは、記憶に新しい。この定義は、25年前の1994年に、JJAと一般社団法人宝石鑑別団体協議会(AGL)が制定したもので、「宝石もしくは装飾用に供される物質の定義および命名法」においては、人工生産物の呼称を「合成石」「人工石」「模造石」に分類し、合成石は同種の天然石と殆どあるいは全く同一の科学特性、物理特性、内部構造を有する、一部あるいは全体を人工的に生産した物質をいうと定め、さらに、合成石を表記するにあたり「合成の接頭語を必ず冠する」とし、

「合成以外の天然石と誤認されるような接頭語は、いずれの場合でも使用してはならない」と規定している。国際的にも今年の2月の時点においては、国際的なガイドラインとして、「Synthetic」「Laboratory-grown」「Laboratory-created」のみ使用できるとの見解が示されていたが、現在ではその見解に変化が起きている。アメリカでは、連邦取引委員会がジュエリーのガイドラインを改訂し、ダイヤモンドの定義から、「天然のみ」としていた限定枠を外し、起源に関わらずダイヤモンドとするとの新しい定義を示した。そして更に、「消費者が誤解する危険性があること」から、Syntheticの使用をガイドラインから削除し、使用しないことを決めた。それを受けて、GIAも表記をSyntheticから「Laboratory grown」に変更することを既に発表。インドでは

7月1日から変更開始するようだ。またHRD Antwerpにおいては、今年からラボグロウンダイヤモンドに関して、天然ダイヤモンドと同じグレード表記を使用した鑑定書が発行されている。HRDは、「鑑定機関の役割は100%の公平性であり、天然かそうではないかに関わらず、消費者に明確な価値を示すこと」との考えを示している。合成石を天然ダイヤモンドと誤解させるような販売方法は、ネット販売を筆頭になかなか無くならないのは周知の通りで、少しでも分かり難い呼称や名称などは排除もしくは変更していくのが消費者保護の観点となるはず。また、グローバルスタンダードに適した定義の変更も必要不可欠なことで、早急に議論すべきことであるはずだ。販売しない、関心がないことに関わらず、少なくとも信頼が第一の小売店からは多くの意見が聞かれても良いはずである。

Advertisement for Lovemark Diamond featuring a woman's face and jewelry.

「合成以外...」の続きの文章.

Advertisement for Murata Jewelry with 'We love Jewelry' slogan and contact info.

Advertisement for Air Post jewelry with 'ピアスポストの革命!!' headline.

Advertisement for Mitsuba jewelry with 'ハイクオリティの輝き' headline.

Advertisement for Sarine technology with '本当のダイヤモンドの美しさを語りませんか?' headline.

Advertisement for Lanvin jewelry with 'LANVIN COLLECTION' headline.